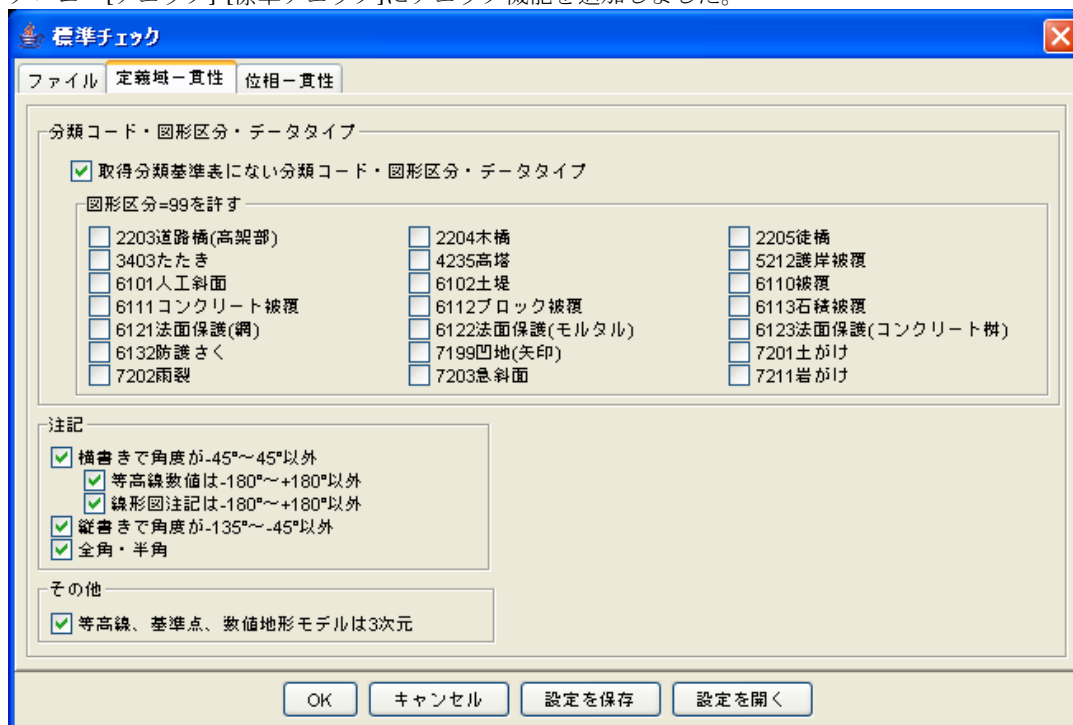


# 拡張 DM エディタ バージョン 2.27 更新記録

2009/06/01  
有限会社ジオ・コーチ・システムズ  
<http://www.geocoach.co.jp/>  
[info@geocoach.co.jp](mailto:info@geocoach.co.jp)

## 1. 標準チェック

メニュー[チェック]-[標準チェック]にチェック機能を追加しました。

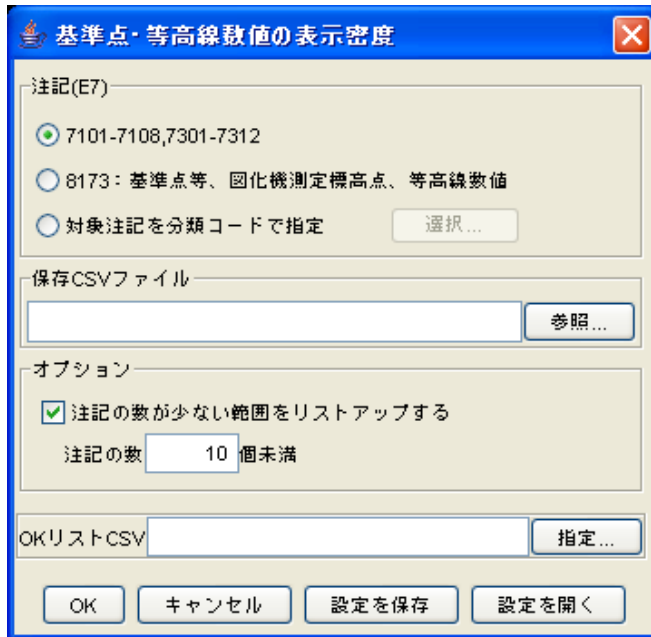


- 「取得分類基準表にない分類コード・図形区分・データタイプ」の検出で、図形区分=99 を許す地物を追加し、分類コード別に指定できるようにしました。
- 横書きの注記の角度チェックで、等高線数値などの例外を追加しました。
- 「等高線、基準点、数値地形モデルは3次元」を追加しました。

## 2. 基準点・等高線数値の表示密度

新メニュー[チェック]-[基準点・等高線数値の表示密度]を追加しました。以下、説明書からの抜粋です。

図上 10cm×10cm の矩形の中にある基準点や等高線数値の注記 (E7) の数をカウントします。各 DM データ別に、図郭の左上から図上 10cm×10cm(地図情報レベル 2500 では、実座標で 250m×250m)の矩形を並べ、その中に入る注記 (E7) の数をカウントし、CSV ファイルに出力します。



【7101-7108, 7301-7312】分類コードが7101 から7108 および7301-7312 の注記をカウントします。

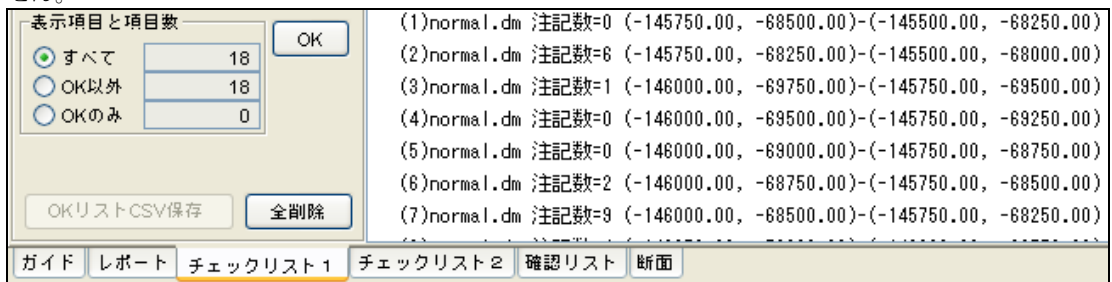
【8173 : 基準点等、図化機測定標高点、等高線数値】分類コードが81731 の注記をカウントします。

【対象注記を分類コードで指定】リストで指定された分類コードの注記をカウントします。

【保存 CSV ファイル】カウント数を CSV ファイルに保存します。各 DM データについてひとつの CSV ファイルに記録します。1 列目は DM データファイル名で 2 列目からがカウント数です。図上 10cm×10cm の矩形の中に、要素(等高線など)がなにもなければ空白になります。CSV ファイル名が指定されていなければ、ファイルは作成しません。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	normal.dm								
2								0	6
3			1	0		0	2	9	10
4		4	9	9	7	11	12	10	12
5		9	8	14	16	8	14	11	11
6		7	11	9	12	13	11	10	9
7		10	8	10	12	10	11	10	12

【注記の数が少ない範囲をリストアップする】カウント数が少ない矩形を[チェックリスト]にリストアップします。指定された個数未満の矩形をリストアップします。但し、要素(等高線など)がなにもない矩形はリストアップしません。



[チェックリスト]にリストアップした矩形内にある注記(E7)を[確認リスト]にリストアップします。矩形内の注記の位置を確認するためです。

(2) 1 注記={170}
(2) 2 注記={170}
(2) 3 注記={210}
(2) 4 注記={140.0}
(2) 5 注記={152.1}
(2) 6 注記={191.9}
(3) 1 注記={440}
(6) 1 注記={190}

